

ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）（第十二次補正稿）

（令和4（2022）年8月8日（月）現在）

〔目 次〕

（補正経緯）	2
（作成経緯）	2
1 はじめに	4
2 関係文献抄	4
(1) 明治年代（1868.9.08～1912.7.29）	4
(2) 大正年代（1902.7.30～1926.12.24）	5
(3) 昭和年代（1926.12.25～1989.1.07）	5
ア 戦前期（1926.12.25～1945.8.15）	5
イ 戦後期（1945.8.16～1989.1.07）	7
(4) 平成年代（1989.1.08～2019.4.30）	8
(5) 令和年代（2019.5.01～）	8
（参考1）ヘーン警察大尉の地方巡回報告書の一部引用（例示）	9
（参考2）その他参考文献	9
【附録】明治警察史コーナーHP項目一覧（抄）	10
【関連事項】	11

(補正経緯)

平成 19 (2007) 年 3 月 1 日初稿作成

HP 初載: 平成 19 (2007) 年 8 月 2 日改訂稿作成

平成 19 (2007) 年 12 月 19 日再訂稿 (第一次補正稿) 作成

平成 20 (2008) 年 3 月 14 日再訂稿 (第二次補正稿) 作成

平成 20 (2008) 年 6 月 8 日再訂稿 (第三次補正稿) 作成

平成 20 (2008) 年 8 月 11 日再訂稿 (第四次補正稿) 作成

平成 20 (2008) 年 9 月 14 日再訂稿 (第五次補正稿) 作成

平成 22 (2010) 年 1 月 7 日 (木) 再訂稿 (第六次補正稿) 作成

平成 22 (2010) 年 6 月 3 日 (木) 再訂稿 (第七次補正稿) 作成

平成 22 (2010) 年 8 月 19 日 (木) 再訂稿 (第八次補正稿) 作成

平成 24 (2012) 年 8 月 20 日 (月) 再訂稿 (第九次補正稿) 作成

平成 27 (2015) 年 12 月 20 日 (日) 再訂稿 (第十次補正稿) 作成

令和 元 (2019) 年 8 月 20 日 (火) 再訂稿 (第十一次補正稿) 作成

令和 4 (2022) 年 8 月 8 日 (月) 再訂稿 (第十二次補正稿) 作成

(作成経緯)

・本「ヘーン大尉関係文献抄」は、『高橋雄豺博士・田村豊氏・中原英典氏等略年譜・著作目録並びに『警察協会雑誌』資料一斑等—明治警察史雑纂 第二輯—』(平成 19 (2007) 年 3 月 1 日刊、CD 版有。) 138、139 頁掲載の「ヘーン大尉文献抄」を、改訂しつつあるものである。

(<http://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/>) 参照。

(HP 初載: 平成 19 年 8 月 2 日改訂稿作成)

・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。「再訂稿」作成。

(平成 19 年 12 月 19 日再訂稿 (第一次補正稿) 作成)

・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 20 年 3 月 14 日再訂稿 (第二次補正稿) 作成)

・レイアウトを多少変更し、更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 20 年 6 月 8 日再訂稿 (第三次補正稿) 作成)

・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 20 年 8 月 11 日再訂稿 (第四次補正稿) 作成)

・「国立公文書館デジタルアーカイブ・システム 内務省警保局文書「ウイルヘルムヘーン大尉国内視察状況」(内務省警保局 昭和 18 年 4 月 22 日作成文書 種村氏警察参考資料第 92 集)」等の件を追加するとともに、誤植を一、二正した。

(平成 20 年 9 月 14 日再訂稿 (第五次補正稿) 作成)

・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 22 年 5 月 2 日再訂稿 (第六次補正稿) 作成)

・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 22 年 6 月 3 日再訂稿 (第七次補正稿) 作成)

- ・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 22 年 8 月 19 日再訂稿 (第八次補正稿) 作成)

- ・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 24 年 8 月 20 日再訂稿 (第九次補正稿) 作成)

- ・上記に更に補正を加えるとともに、誤植を一、二正した。

(平成 27 年 12 月 20 日再訂稿 (第十次補正稿) 作成)

- ・平成 30 (2018) 年 11 月ベアーテ・ヴォンデ氏によるヘーン大尉関係講演会の件を追加するとともに、全体にわたり補正した。

(令和元年 8 月 20 日再訂稿 (第十一次補正稿) 作成)

- ・レイアウトを全面的に変更し、一部補正、追加した。

(令和 4 年 8 月 8 日再訂稿 (第十二次補正稿) 作成)

1 はじめに

我が明治警察史におけるヘーン大尉（ウキルヘルム、プロシア国警察大尉、1839.3.4～1892.12.30）の功績については、今更改めて述べるまでもない。ここでは、今後の検討の参考のために、関係文献の一端を紹介することとする。詳細は各文献の引用著作をも参照。なお、HP「ドイツ大尉ヘーン表功碑」[〈http://www18.ocn.ne.jp/~bell103/doitsu.html〉](http://www18.ocn.ne.jp/~bell103/doitsu.html) 参照（このみ平成 20 年 9 月 14 日追加 ⇒（平成 27 年 12 月 20 日修正）ただし、同 HP を掲載した「PageON」のサービス提供は平成 27（2015）年 2 月 28 日をもって終了とのことである [〈http://page-on.ocn.ne.jp/close.html〉](http://page-on.ocn.ne.jp/close.html)。）。

2 関係文献抄

(1) 明治年代（1868.9.08～1912.7.29）

・ヘーン著、湯目補隆¹等訳『警察講義録』（警官練習所蔵版、東京：博聞社、明治 19（1886）年 6 月刊、978 頁、21 cm）（国立国会図書館電子図書館（近代デジタルライブラリー：[〈http://www.ndl.go.jp/〉](http://www.ndl.go.jp/)）に収録。）⇒平成 19 年 6 月に信山社より復刻版刊行（下記「(4) 平成年代（1989.1.08～2019.4.40）」の項参照。平成 20 年 9 月 14 日追加）。なお、本 HP 別稿「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆者井土経重検討一斑—明治警察史の一齣—」（HP 初出：平成 22（2010）年 5 月 6 日（木）初稿作成）参照。（平成 22 年 6 月 3 日追加、平成 27 年 12 月一部修正）

[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf)

・フィガセウスキー講述、末松一郎等訳『警察講義録』（警官練習所蔵版、東京：博聞社、明治 19 年 7 月刊、532 頁、21cm）（国立国会図書館デジタルコレクション [〈http://dl.ndl.go.jp/〉](http://dl.ndl.go.jp/) に収録。）（平成 20 年 9 月 14 日追加、令和元年 8 月 20 日一部修正）

・ヘーン著、大井和久訳『警察講義録』（内題：独逸警察講義録）、警官練習所蔵版、東京：博聞社、明治 22（1889）年 10 月刊、1124p、21cm）（国立国会図書館デジタルコレクション [〈http://dl.ndl.go.jp/〉](http://dl.ndl.go.jp/) に収録。）（平成 20 年 9 月 14 日追加、令和元年 8 月 20 日一部修正）

・松井茂久（1862～1890）『警官陶冶篇』（初版、福岡県警察本部、明治 22 年 11 月 18 日刊、国立国会

¹ 湯目補隆（ゆのめ すけたか、1858～1936）は、後藤新平（1857～1929）に近い人物であり、明治 10 年代終り頃東京の警官練習所でヘーン大尉の訳官をし、同 20 年代初め内務属から第三高等学校教諭となる。その後、領台後渡台して台湾総督府警察官及司獄官練習所の初代所長に就任した。同氏は、明治警察史、日本統治下台湾警察史検討上も極めて興味ある人物であるが、その履歴、業績については、例えば高橋雄才（1889～1979）『明治警察史研究』第 1 巻「明治年代の警察幹部教養」（令文社、昭和 35 年 3 月 1 日刊）51、52、165、166 頁に詳しい。「仙台中・一高同窓会」HP をも参照（この部分のみ、平成 20 年 8 月 11 日追加）。なお、国立公文書館デジタルアーカイブ・システムで、「湯目補隆」を検索のこと（平成 20 年 9 月 14 日追加）。この他、本 HP 別稿「湯目補隆氏関係資料一斑—日本統治下台湾警察史・明治警察史の一齣—」（平成 21（2009）年 10 月 29 日（木）初稿作成、逐次改訂中。[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yunome001.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yunome001.pdf)）及び「佐倉孫三及び湯目補隆両氏の足跡について—領台初期の日本人関係文献—」（平成 22（2010）年 6 月 15 日（火）初稿作成。[〈https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakurayunome.pdf〉](https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakurayunome.pdf)）各参照（「この他、」以下、平成 22 年 5 月 2 日追加、同年 8 月 19 日一部補正。平成 24 年 8 月 20 日一部補正。「湯目補隆の逝去年」について令和元年 8 月 20 日追加）

図書館デジタルコレクション (<http://dl.ndl.go.jp/>) に収録。)、同 (増訂再版、福岡市・松井マン、明治24年7月18日刊、国立国会図書館デジタルコレクション (<http://dl.ndl.go.jp/>) に収録)、同 (増訂三版、福岡市・林磊落堂、明治25年2月18日刊、本HP別稿「PDF版松井茂久『警官陶冶篇』」に収録。) (令和元年8月20日一部修正)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>

・『警察監獄学会雑誌』第3号 (明治23年?月?日刊)、第4号 (明治23年?月?日刊)、第5号 (明治23年3月28日刊)、第8号 (明治23年刊)、第2巻第1号 (明治24年2月10日刊)、第2巻第3号 (明治24年4月1日刊)、第2巻第9号 (明治24年9月30日刊)、第3巻第4号 (明治25年2月28日刊)、第3巻第6号 (明治25年?月?日刊)、第3巻第7号 (明治25年4月10日刊) 等にヘーン大尉関連記事あり。(『警察監獄学会雑誌』については本HP別稿「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣— (再訂稿)」参照。(このみ平成27年12月20日追加)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>

(2) 大正年代 (1902.7.30~1926.12.24)

・小山三郎 (向島署長) 「ウキルヘルム・ヘーン氏に就て」『自警』第4巻第41号 (大正11年12月1日刊) 39~42頁 (平成22年5月2日追加)

・内務省警保局『警察研究資料』(大正14年3月31日刊) (ヘーン警察大尉の地方巡回報告書「李魯西王国警察大尉ウキルヘルム、ヘーン氏復命書並意見書」の一部を収録。)

・菊池慎三 (肩書: 元福井県警察部長、明治44年内務省入省) 「警察制度の沿革を顧みて」『警察協会雑誌』²第303号 (大正14年11月25日刊) 7~15頁 (ヘーン大尉関係: 7、8頁。『福井県警察史』第1巻〈福井県警察本部、昭和62年12月15日刊〉334、335頁参照。) (平成22年6月3日追加)

(3) 昭和年代 (1926.12.25~1989.1.07)

ア 戦前期 (1926.12.25~1945.8.15)

・『清浦伯爵警察回顧録』(財団法人警察協会、昭和4年4月15日刊、清浦奎吾: 1850~1942) 35頁 (下記27齣) 以下

<http://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/1464234>

・「ヘーン氏彰功碑—警察グラファー」『警察協会雑誌』第351号 (昭和4年11月1日刊) 48~50頁 (平成22年6月3日追加)

・内村直俊 (肩書: 元兵庫県警察部長、往年ヘーン大尉の薫陶を受けた方) 「ヘーン氏彰功碑追憶」『警察協会雑誌』第354号 (昭和5年2月5日刊) 45頁

・石井省一郎 (1841~1930、故貴族院議員) ・松井茂 (1866~1945) 対談「明治初期の警察を語る (2・

² 本HP別稿「『警察協会雑誌』発行者」参照。(平成24年8月20日追加)

<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/keikvozasshi.pdf>

完) 『警察協会雑誌』第366号(昭和6(1931)年2月3日刊)62～77頁(2)に「川路大警視(62、63頁、ヘーンの面影(68、69頁)」あり。)

・松井茂(1866～1945)『警察読本』(日本評論社、昭和8年9月23日刊)31、32頁(平成20年3月14日追加)

・山元一雄(1897～?)『日本警察史 全』(松華堂、昭和9年5月24日刊)134～138頁

・清浦奎吾(1850～1942)「警保局長の思ひ出」『台湾警察時報』第255号(昭和12年2月10日刊)27、28頁(おそらく内地刊行雑誌に掲載されたものの転載と思われるが、原載誌不明)(平成20年3月14日追加)

・(警視庁)警務課教養係「独逸警察大尉ヘーン先生の碑—史蹟巡り(その八)—」(所在 本所区向島二丁目七番地 所轄 言問警察署)『自警』第20巻第3号(通巻第223号、昭和13年3月1日刊)72～82頁(平成22年4月12日一部修正)

・松井茂(1866～1945)「わが警察界の父」『台湾警察時報』第293号(昭和15年4月5日刊)40、41頁(おそらく内地刊行雑誌に掲載されたものの転載と思われるが、原載誌不明)(平成20年3月14日追加)

・黒田生(大分県警務課)「ウエルヘルム、ヘーン氏の回想」『警察(?)』第66(?)号(大分県警察の機関誌か。昭和15年6月刊)14～18頁(原典未見、下記「国立公文書館デジタルアーカイブ・システム 内務省警保局文書「ウエルヘルムヘーン大尉国内視察状況」(内務省警保局 昭和18年4月22日作成文書 種村氏警察参考資料第92集)」60～63頁に拠る。)(平成20年9月14日追加)

・高橋雄豺⁴(1889～1979)「ヘーン大尉のことども」『国際知識及評論』(社)日本国際協会刊)第20巻第8号(昭和15年8月1日刊)35～37頁(註: 下記昭和17年発表論稿「ヘーン大尉のことども」とは別稿)

・「ヘーン警察大尉慰霊祭」『警察協会雑誌』第487号(昭和15年12月1日刊)

・松井茂(1866～1945)「清浦奎吾伯を弔し、併せてウエルヘルム・ヘーン氏を偲ぶ」『警察協会雑誌』第511号(昭和17年12月刊)2～11頁(清浦奎吾: 1850～1942)

・高橋雄豺(1889～1979)「ヘーン大尉のことども」『警察協会雑誌』第511号(昭和17年12月1日刊)12～16頁

・「普国警察大尉ヘーン君表功碑文」『警察協会雑誌』第511号(昭和17年12月1日刊)17～19頁

・雪下陽(警官練習所第一期生中の最後の人物、元大審院検事、当時79歳)「ウエルヘルム・ヘーン氏を偲ぶ」『警察協会雑誌』第511号(昭和17年12月1日刊)20、21頁

・国立公文書館デジタルアーカイブ・システム 内務省警保局文書「ウエルヘルムヘーン大尉国内視察状況」(内務省警保局 昭和18年4月22日作成文書 種村氏警察参考資料第92集1～73頁(種村一男: 1902～1982.9.12)) (平成20年

9月14日追加)

〈http://www.digital.archives.go.jp/DAS/meta/MetaOutServlet?GRP_ID=&DB_ID=G9100001EXTERNAL&IS_STYLE=default&IS_TYPE=meta&XSLT_NAME=MetaSearchSimpleFrame.xsl&ID=&act=meta&DEF_XSL=default〉

³ 本HP別稿「自警」発行表(戦前期)参照。(平成24年8月20日追加)〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/jikei001.pdf>〉

⁴ 高橋雄豺(1889～1979)：〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉参照。(平成24年8月20日追加)

イ 戦後期 (1945.8.16～1989.1.07)

- ・『東京市史稿』(遊園篇 第七) (東京都庁、昭和 28 年 12 月 20 日刊。臨川書店復刻本、昭和 48 年 9 月 30 日刊) 609～612 頁に「三囲祠畔ヘーン表功碑」の書下し文あり。
- ・滝静雄 (1910～?) 「警察今昔物語 御用提灯から機動隊まで」 (新人物往来社、昭和 49 年刊) 60～64 頁 (平成 20 年 3 月 14 日追加)
- ・高橋雄豺 (1889～1979) 『明治警察史研究』第 1 巻「明治年代の警察幹部教養」(令文社、昭 35 年 3 月 1 日刊) (上記「ヘーン大尉のことゝも」(昭和 17 年) その他を収録。)
- ・『警視庁百年の歩み』(警視庁創立 100 年記念行事運営委員会、昭和 49 年 1 月 15 日刊) 119 頁 (平成 20 年 8 月 31 日追加)
- ・(対談) 高橋雄豺 (1889～1979) ・中原英典⁵ (1915～1979) 「日本警察の歩みを語る (その 1) ～明治警察史研究を中心にして」『警察研究』第 45 巻第 9 号 (昭和 49 年 9 月刊) 107、108、120 頁
- ・ユネスコ東アジア文化研究センター編『資料 御雇外国人』(小学館、昭和 50 年 5 月 1 日刊) 404 頁、504 頁 (文献) (平成 20 年 4 月 12 日追加)
- ・手塚豊 (1911～1990) 「ヘーン大尉「長野新潟石川富山福井五県下巡回復命書」」(1～5・完) 『警察研究』第 47 巻第 5～9 号 (昭和 51 年 5～9 月刊) (1: 第 5 号 36～47 頁、2: 第 6 号 27～42 頁、3: 第 7 号 26～40 頁、4: 第 8 号 38～51 頁、5・完: 第 9 号 12～29 頁)
- ・手塚豊 (1911～1990) 「ヘーン警察大尉「千葉県巡回復命書」」『法学研究』第 49 巻第 6 号 (昭和 51 年 6 月 15 日刊) 71～108 頁
- ・中原英典 (1915～1979) 「園田安賢履歴ノート (上)」『警察研究』第 49 巻第 6 号 (昭和 53 年 6 月 10 日刊) 34 頁 (「ただし、今日、ヘーンが警視庁御雇として同庁のために貢献したあとがハッキリ判らないのは遺憾である。」との記述に留意。このことは、長く指摘されてきたが、この時点でも不明。園田安賢: 1850～1924) (平成 20 年 3 月 14 日追加)
- ・『警察大学校史—幹部教育百年の歩み—』(財警察大学校学友会、昭和 60 年 3 月 25 日刊) (「第二章 警官練習所」7～19 頁) (平成 20 年 8 月 31 日追加)
- ・坂間裕 (1914～2014) 「ヘーン大尉の名刺 警察大学校史編纂余録」『警察学論集』第 38 巻第 5 号 (昭和 60 年 5 月) (警察大学校創立 100 周年記念論文集Ⅱ)
- ・『福井県警察史』第 1 巻 (福井県警察本部、昭和 62 年 12 月 15 日刊) 332～348 頁 (平成 22 年 6 月 3 日追加)
- ・笠野孝 (1930～) 「明治期における警察お雇い外国人—グロース博士とヘーン警察大尉—」(1～6・完) 『警察学論集』第 41 巻第 3～8 号、昭和 63 年 3～8 月刊
- ・草山巖「内務省顧問ヘーンの巡回視察と兵庫県—国家警察のスタートラインとなった明治二〇年前後の警察改革—」『地域史研究』第 18 巻第 2 号 (尼崎市立地域研究史料館、昭和 63 年 12 月 28 日刊) 1～42 頁 (平成 20 年 3 月 14 日追加)

⁵ 中原英典 (1915～1979) : <https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatvoshi/nakahara001.pdf> 参照。(平成 24 年 8 月 20 日追加)

(4) 平成年代 (1989.1.08～2019.04.30)

- ・由井正臣 (1933～2008)、大日方純夫 (1950～) 校注『官僚制・警察』(ヘーン著「地方警察巡回復命書」、日本近代思想大系 3、岩波書店、平成2年11月22日刊) (平成20年9月14日追加)
 - ・クライナー・ヨーゼフ (1940～)・田畑千秋 (1952～)『ドイツ人のみた明治の奄美』(那覇市・ひるぎ社、平成4年2月15日刊) 60～66頁、文献219～221頁
 - ・田村正博 (1953～)「地域警察研究ノート—4、5—ヘーン大尉「栃木群馬福島三県復命書」—上、下—『警察学論集』第48巻第1、2号(平成7年1、2月10日刊) (上: 第1号71～84頁、下: 第2号111～123頁)
 - ・武内博 (1933～) 編著『来日西洋人名辞典 増補改訂普及版』(日外アソシエーツ、平成7年1月31日刊、初版: 昭和58年3月刊) 428、429頁。参考文献の記載もあり。
 - ・田村正博 (1953～)「ヘーン警察大尉復命書における警察管理上の参考事項」『警察学論集』第48巻第10号123～131頁(平成7年10月10日刊) (令和元年8月20日追加)
 - ・ヨーゼフ・クライナー⁶ (1940～) 著・安藤勉 (1947～) 訳『江戸・東京の中のドイツ』(講談社学術文庫、平成15年12月10日刊) 140～153頁に向島・三囲神社のヘーン表功碑の記述あり。216、217頁にヘーン関係参考文献あり。
 - ・上村直己 (1939～)「清浦奎吾とドイツ警察大尉ヘーン」『九州の日独文化交流人物誌』(熊本大学文学部地域科学科、平成16年3月31日刊、訂正第2版: 平成17年2月20日刊) 29～32頁(清浦奎吾: 1850～1942) (平成20年8月2日追加)
 - ・『警察講義録』(ヘーン講述、湯目補隆他口譯、井土經重筆記 復刻版(信山社出版、平成19年6月刊)) (日本立法資料全集 / 杉村章三郎他監修、芦部信喜他編集、別巻447) (注記: その他の口譯者: 久松定弘、大井和久、朝比奈又三郎、警官練習所蔵版(明治19年刊)の復刻版)
<http://www.shinzansha.co.jp/book/b188387.html> (平成20年9月14日追加)
- なお、井土經重(霊山、1859～1935)、久松定弘(1857～1913)等につき前掲本HP別稿「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土經重検討一斑—明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf> 参照。(「なお」以下平成27年12月20日追加)
- ・警察政策学会⁷警察史研究部会『普魯西王国警察大尉ウィルヘルム・ヘーン九州・東北各県巡回視察復命書 付 全国警部長会議における演説』(警察政策学会資料第60号、平成22年5月刊。「あとがき」に「編T生」とある。) (平成22年8月19日追加)

(5) 令和年代 (2019.5.01～)

- ・ベアーテ・ヴォンデ氏 (1954～、ベルリン・フンボルト大学森鷗外記念館副館長) によるドイツ文化講演会「知られざるお雇い外国人 ヴィルヘルム・ヘーン 日本警察の父と呼ばれたプロイセン警察大尉

⁶ ヨーゼフ・クライナー (1940～) :

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%A8%E3%83%BC%E3%82%BC%E3%83%95%E3%83%BB%E3%82%AF%E3%83%A9%E3%82%A4%E3%83%8A%E3%83%BC> 参照。

⁷ 警察政策学会: <http://www.ass.jp/>

の日本での足跡とその生涯」(平成30(2018)年11月1日、於北九州市・西日本工業倶楽部、北九州日独協会主催)(ヘーン大尉日本滞在中の日記三冊が存在する由)

(北九州日独協会 Japanese-Deutsche Gesellschaft Kitakyushu

『北九州日独協会報』第32号、令和元(2019)年7月12日刊、3~7頁所掲

平成30(2018)年11月1日の西日本工業倶楽部に於ける私のヘーン講演に関する記事)

http://www.jdg.or.jp/list/vjdg_j/49kitakyushu.html

<https://beatewonde.de/about/jp/>

<https://beatewonde.de/feedback/books-5642/>

<https://beatewonde.de/img/2019/06/d2082006063655fe511ae0ddc43077f7.pdf#search=%27%E3%83%98%E3%83%BC%E3%83%B3%E5%A4%A7%E5%B0%89%E3%81%AE%E6%97%A5%E6%9C%AC%E6%BB%9E%E5%9C%A8%E4%B8%AD%E3%81%AE%EF%BC%93%E5%86%8A%E3%81%AE%E6%97%A5%27>

(令和元年8月20日追加)

・「ヘーン大尉関係文献抄」警察政策学会警察史研究部会編『令和元年度警察史研究部会特別調査研究報告書 近代警察史関係文献目録抄—川路大警視検討を中心に—』(警察政策学会資料・別刷。令和元(2019)年10月1日刊)224~232頁 (令和4年8月8日追加)

・警察政策学会警察史研究部会編「ヘーン大尉関係文献抄(改訂稿) 一戸高公德氏の御業績を偲びて—」警察政策学会資料第114号『近代警察史の諸問題—川路大警視研究を中心に—(第二輯) 武藤誠氏・加藤晶氏・福永英男氏・戸高公德氏追悼記念論集』(上冊、警察史研究部会編、警察政策学会、令和3(2021)年5月8日刊。上記「ヘーン大尉関係文献抄」の改訂版)209~217頁 (令和4年8月8日追加)

<http://asss.jp/report/%E8%AD%A6%E5%AF%9F%E6%94%BF%E7%AD%96%E5%AD%A6%E4%BC%9A%E8%B3%87%E6%96%99114.pdf>

(参考1) ヘーン警察大尉の地方巡回報告書の一部引用(例示)

- ・『大阪府警察史』第1巻295頁以下、
- ・『兵庫県警察史 明治大正編』593頁以下
- ・『京都府警察史』第2巻536頁以下
- ・『福井県警察史』第1巻(福井県警察本部、昭和62年12月15日刊)332~348頁(平成22年6月3日追加)

(参考2) その他参考文献

- ・矯正図書館編『資料・監獄官練習所』(矯正協会、昭和52年2月刊)(平成20年3月14日追加)

【附録】明治警察史コーナーHP 項目一覧 (抄) (令和4 (2022) 年8月8日追加)

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 掲載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』」検討資料」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』(増訂三版、明治25 (1892) 年2月18日刊)」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』—「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑(碑文全文、付句読点文、書下し文)—故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安禎撰—」—明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>
- ・「佐和正関係文献抄—明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>
- ・「坂元純熙、國分友諒両氏の墓所について—中原英典氏のお問い合わせを追って—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>
- ・「国分友諒顕彰碑について—原田弘先生のお教えに接して—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>
- ・「篠崎五郎関係資料抄—台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人—」—明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ—明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑—明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸及び明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸及び明治警察史の一齣—」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>
- ・「ヘーン大尉関係文献抄(再訂稿)」(本稿)
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>
- ・「高橋雄豺博士著作目録(再訂稿)」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>
- ・「田村豊氏著作目録」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄(参考) 渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>

【関連事項】（令和4年8月8日追加）

- ・法制史学会: <https://www.jalha.org/>
- ・国立国会図書館: <https://www.ndl.go.jp/>
- ・国立国会図書館デジタルコレクション <https://dl.ndl.go.jp/>
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>
- ・CiNii: <https://ci.nii.ac.jp/> ⇒ <https://cir.nii.ac.jp/>（【[2022] 4/18 更新】 CiNii Articles の CiNii Research への統合について）、<https://ci.nii.ac.jp/books/>

（了）